

シ 14 発 第 13 号
平成 15 年 4 月 4 日

外 務 大 臣 殿

社団法人 シャンティ国際ボランティア会
会長 松永 然道

平成 14 年度国際開発協力関係民間
公益団体補助事業完了報告書

平成 14 年 9 月 18 日付第 265 号をもって補助金の交付決定を受けた標記の事業が完了したので、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律第 14 条前段の規定により、関係書類を添え、下記のとおり報告します。

- | | |
|------------|-------------------------------------|
| 1. 補助事業の名称 | 10. 地域総合振興事業 |
| | 2. 人材育成事業 (2) 貧困地区学習援助事業 |
| | 3. 女性自立支援事業 (2) 自立支援研修事業
(カンボジア) |

2. 補助金の交付決定額及びその精算額 (別紙のとおり)

3. 補助事業の実施期間 平成 14 年 4 月 1 日 ~ 平成 14 年 12 月 31 日

4. 補助事業の成果

当会主催の教員養成研修会

当会は 1 つの対象地域にて 1) 州単位の研修会、2) 郡単位の研修会、3) 州単位のまとめの研修会という 3 段階の研修会を開催している。最初の州単位の研修会には、州教育局、その州にある全郡の教育局関係者、全クラスター¹のクラスター長が参加する。これは教育方針に携わる教育関係者に活動の内容や意義を理解してもらうことにより、活動を効率的に促進できるようになるからである。次に行われるのが郡単位の研修会で、クラスターの中心校及び衛星校の図書館員が参加する。州都に集まってもらうのは費用や時間がかかること、研修会の規模が大きいと練習に取る時間が短くなることから、州の中にある各郡を回り研修会を行っている。その際には開催地となる郡だけではなく、近郊の郡の図書館員を参加させることもある。郡単位での研修会が終わると、最後にまとめの研修会を開催する。最後の研修会には、州単位の研修会、郡単位の研修会に参加した州及び郡教育局、クラスター長、図書館員が参加する。まとめの研修会が終了後、その対象地域の評価を行い、当会はその州から撤退する。

2002 年度はプノンペン市、コンポンチュナン州、タケオ州、カンダール州、スヴァイリエン州、カンポット州でまとめの研修会を行った。来年度はプノンペン市、タケオ州、カンダール州の全クラスターを回り研修会で伝えた技術や理論がどこまで理解され実践に移されているか、配布した絵本や教材がどのように使用されているかを評価する予定である。

バタンバン州とプーサット州はクメールルージュからの解放後、新しい郡が作られた。

¹ カンボジアではクラスター制度が取られている。5~10 校の小学校がクラスター (群) を作り、その中にある比較的規模が大きくアクセスのよい学校が中心校、他の学校は衛星校となる。

また解放された 1997 年以降、学校の建設やクラスター設置が始まったために、この 2 州では郡単位の研修会を継続して行うにとどまった。

2002 年度は 6 回の研修会を主催し、599 人の図書館員、クラスター長、教育局関係者を育成した。

当会主催の研修会

月日	開催場所	対象となった郡	参加者数
5 月 7 日～11 日	コンポンチュナン州コンポンチュナン教員養成学校	全郡 (8 郡、25 校)	72
6 月 6 日～10 日	カンポート州カンポート教員養成学校	全郡 (8 郡、46 校)	103
7 月 15 日～19 日	ブノンペン市ブノンドンペン小学校	全郡 (7 郡、15 校)	66
8 月 27 日～31 日	カンダール州キエンズヴァイ郡コキー小学校	全郡 (11 郡、60 校)	138
9 月 17 日～21 日	スヴァイリエン州スヴァイリエン教員養成学校	全郡 (7 郡、31 校)	76
10 月 15 日～19 日	タケオ州タケオ教員養成学校	全郡 (11 郡、63 校)	144
合計			599

州教育局主催の教員養成研修会

当会が撤退後に活動が継続して行われるためにも、適当な技術や知識を持った人がその地域にいることが条件となる。当会は 2001 年に各対象地域の州教育局から選出された職員を、図書館活動推進トレーナーとなるための特別研修会を開催した。その後も、当会がモニタリングを行う際にトレーナーに同行してもらい活動の進捗状況の理解や追加技術の向上を促している。

2002 年度はそのトレーナーが主催する研修会が 6 回行われ、252 人の図書館員及びクラスター長が研修を受けた。で述べた、郡単位の研修会をトレーナーに行ってもらっている。

州教育局主催の研修会

月日	開催場所	対象となった郡	参加者数
4月8日～10日	カンボート州チュック郡教育局	チュック郡、ドント郡	41
5月14日～16日	スヴァイリエン州チャントレア郡 プレイアングクン小学校	コンボンロー郡、チャントリア郡、ロミアハエ郡	46
6月13日～15日	タケオ州コッアンデット郡ロメン 小学校	キリヴォン郡、コッアンデット郡、ボレイチョルサー郡	45
7月29日～31日	プーサット州ヴィルヴェーン郡 プラモイ小学校	ヴィルヴェーン郡	40
11月26日～28日	プーサット州プーサット教育局	クラコー郡、プノンクラヴァン郡	34
12月23日～25日	バタンバン州ムーンルッセイ郡 プレイトゥーイ小学校	ムーンルッセイ郡、コックロー郡	46
合計			252

出版活動

本年度は以下の絵本と紙芝居を出版した。

クメール民話絵本

No	題名	冊数	完成月
1	白鳥とカメ	3,000	7月
2	ヤット山	3,000	11月
3	隠者とネズミ	3,000	8月

クメール民話紙芝居

No	題名	部数	完成月
1	トラとサルとウサギ	350	8月

教材の製作

2002年度は研修会で絵本と一緒に配布をする謄写版を製作した。

- 謄写版 ... 150セット

配布活動

配布した教材や絵本を有効的に使ったもらうために、「おはなしと図書館活動に関する研修会」に出席した図書館員のみで配布をしている。配布の冊数は以下の通り。また絵本の他に紙芝居を演じるための三面鏡のような舞台、移動図書館を行うための移動図書館箱、謄写版、クメール語を貼り付けた日本の絵本も配布している。その他のクメール語絵本は他団体が出版し、当会が委託されて配布している絵本を指す。

当会主催の研修会を通じた配布

月日	開催場所	配布を受けた学校数	クメール絵本	日本	その他	紙芝居	移動図書館	紙芝居舞台	謄写版
5月7日～11日	コンポンチュナン州コンポンチュナン教員養成学校	25校	2250	1250	875	125	1	5	4
6月6日～10日	カンポット州カンポット教員養成学校	46校	2760	1610	1426	230	9	9	14
7月15日～19日	プノンペン市プノンペン小学校	15校	900	750	465	75	0	5	0
8月27日～31日	カンダール州キエンズヴァイ郡コキー小学校	60校	3600	3000	1860	180	19	21	30
9月17日～21日	スヴァイリエン州スヴァイリエン教員養成学校	31校	2046	1550	837	93	0	0	0
10月15日～19日	タケオ州タケオ教員養成学校	63校	3780	3150	1764	189	21	18	31
合計	6回	240校	15336	11310	7227	892	50	58	79

- クメール絵本: 当会が出版をしたクメール民話絵本
 日本: 日本の絵本にクメール語の翻訳を貼りつけた絵本
 その他: 委託を受けて配布を行っている絵本
 紙芝居: 当会が製作をしたクメール民話紙芝居
 移動図書館: 開ければ本棚になっており 100冊の絵本を保存することができる移動図書館箱
 紙芝居舞台: 紙芝居用の三脚の舞台
 謄写版: 電気がなくても使用できる謄写版

州教育局主催の研修会を通じた配布

月日	開催場所	配布を受けた学校数	クメール絵本	日本	その他	紙芝居	移動図書館	紙芝居舞台	謄写版
4月8日～10日	カンボット州チュック郡教育局	11校	990	550	429	55	8	8	8
5月14日～16日	スヴァイリエン州チャントレア郡プレイアングクン小学校	9校	810	450	315	45	7	7	6
6月13日～15日	タケオ州コッアンデット郡ロメン小学校	12校	720	600	372	60	7	8	9
7月29日～31日	プーサット州ヴィルヴェーン郡プラモイ小学校	6校	180	150	186	24	6	6	6
11月26日～28日	プーサット州プーサット教育局	13校	1170	650	247	39	7	7	9
12月23日～25日	バットンバン州ムーンルッセイ郡プレイトゥーイ小学校	18校	1620	720	342	54	18	17	17
合計	6回	69校	5490	3120	1891	277	53	53	55

当会主催の研修会と州教育局主催の研修会を通じて配布をした絵本や教材の合計

	研修会数	配布を受けた学校数	クメール絵本	日本	その他	紙芝居	移動図書館	紙芝居舞台	謄写版
SVA	6回	240校	15336	11310	7227	892	50	58	79
州教育局	6回	69校	5490	3120	1891	277	53	53	55
合計	12回	309校	20826	14430	9118	1169	103	111	134

移動図書館を兼ねたモニタリング

研修会開催から1ヶ月～3ヶ月以内に、研修参加校でモニタリングを行い、参加した先生の技術の習得度や配布をした教材や絵本が有効的に使われているかチェックをする。モニタリングは、図書館活動の視察、当会のインストラクターの技術を見学してもらう移動図書館、そうしてアドバイスと言う3つの内容で構成されている。

2002年度は活動期間が9ヶ月と短かったが、64箇所での移動図書館を行い、16,766人の子ども、509人の教員、578人の地域住民(合計17,853人)が参加した。2001年度は12ヶ月で66回の移動図書館を行ったことを考えると、移動図書館の回数は増加している。

アジア子どもの家

1) 附属幼稚園

前年度からの要請を受け新たに3教室を増設した。(年少、年中、年長各1教室)受け皿が大きくなったため、昨年度に比べて園児数が増加した。「すべての人に教育を」を目標に、スラム地域からの子ども達を積極的に受け入れている。

園児の統計表

園児	女子	男子	合計
年少(3歳)	25	28	53
年中(4歳)	34	20	54
年長(5歳)	17	17	37
合計	76	65	144

- プディング、チャムカモン、ワットタンのスラム地域に住む93人の幼児を無料で受け入れた。また貧困層の子ども達の選択は、アジア子どもの家幼稚園の教員と当会のスタッフだけではなく、作業委員会や幼稚園支持委員会など住民側や子どもの父母の声を反映した形となっている。
- 教材作成、子どもの遠足、子どもの日やお正月の行事への参加を子ども達の父母にも勧めている。それを通じて父母が子ども達の教育に関心を持つようになった。
- カンボジアで1つしかない幼稚園教員養成学校の研修生を実習生として受け入れた。それにより研修生は、園児への指導方法、教室の運営管理などに関する新しい知識と経験を得た。
- 地域住民幼稚園、他のNGOが運営する幼稚園の教諭の再トレーニングを行った。
- 子ども向けのラジオやテレビのプログラム作成を行った。

2) 児童館

常設図書館活動(読書室及びプレイルーム)

活動の目標としている「すべての人に教育を」を達成するために、アジア子どもの家近郊にあるスラム地域にする子ども達が図書館に来てもらえるように努めた。移動図書館や児童相談活動とも協力し、スラム地域を訪れた際に読書室及びプレイルームの活動紹介を行ってもらっている。

プレイルーム及び読書室では、折り紙やお絵描きなど子どもが楽しめるプログラムを組んでいる。環境を整備することで、子どもが来たいと思う施設になるように配慮している。

- 4,085人が読書室を利用した。
- 2602人がプレイルームを利用した。
- 伝統舞踊をプレイルームで学ぶ10人の子どもが選抜されラオスで行われたアジア子ども文化祭に参加をした。

移動図書館活動

プノンペン市内幼稚園、スラム地域(プディングとチャムカモン)やトゥールソムボ一政府開発地域で毎週子どもの教育サービスを行なった。子どもはもちろん教員、地域の住民、親たちも参加した。合計で2,895人(内、女性1291人)が活動に参加をした。

移動図書館で各地域を回る機会を利用して、教育関係者の育成も行った。プノンペン市内の幼稚園を巡回した際に、絵本の修繕の仕方、おはなしの仕方、絵本の意義などを伝えた。そのために市内にある39の幼稚園に読書コーナーが設置された。2,213人が読書コーナーを利用した。

スラム地域では移動図書館に興味を持ったお母さん方により家庭図書館が設置され始めた。これは自分の家の一部を開放して図書スペースを作り、学校に行くことのできない子どもが多いスラム地域に住む子ども達に文字を知ってもらう機会を提供することを目的にし

ている。今年度は 8 箇所にある家庭図書館の図書館員の育成や絵本の配布を行った。

児童相談

カンボジアの経済は徐々に発展しつつあるが、農村部に住む人々は低い農業技術と灌漑施設の不整備により低い収穫量しか得られない。そのため首都プノンペンに出てきて、川沿いや路上で生活を始めるようになった。そのうちスラムが形成された。スラムの中では、両親の離婚、AIDS の高い感染率、孤児、売春などの社会問題が多く見られる。

問題に直面した子ども達や両親に児童相談を行っている。児童相談員との話し合いで解決できない問題がある場合、その分野で活動を行っている NGO や国の機関と相談や紹介をするなど、リソースとして役割も果たしている。

児童相談員は、子ども達の生活状況を理解するために子どもの生活に関する実態調査も行っている。また卒園児の通っている小学校を訪れ、子ども達の状況を調査している。

- 129 人から相談を受けた。
- スラムにある家庭を回り子ども達を取り巻く環境について調査を行った。1,735 人から聞き取りを行った。その調査により子ども達が麻薬、家庭内暴力や虐待、児童労働、人身売買、両親の離婚などの問題に直面していることが分かった。
- 111 人の卒園児の調査を行った。幼稚園を卒園した生徒は順応性もあり、基礎的知識も備えているため留年をしていない。48 人が優、63 人が良の成績を修めていた。

補助金の交付決定額及びその精算額

(単位：日本円)

対象国	事業の名称 (区分)	補助金交付決定額
カンボジア	2.人材育成 (2) 貧困地区学習援助, 3.女性自立(2) 自立支援研修事業	8,112,000

補助対象経費の区分	補助金 (A)	支払実績額	選定額(B)	自己資金 充当額 -	備考
2-(2)					
1. 資機材設備費	120,000	268,026	120,000	148,026	
2. 教材費	3,000,000	5,308,876	3,000,000	2,308,876	
3. 指導者養成費	-	2,347,425	0	2,347,425	
6. 現地補助員費	1,188,000	1,938,531	1,188,000	750,531	
3-(2)					
1. 資機材設備費	-	246,460	0	246,460	
2. 教材費	-	717,999	0	717,999	
3. 指導者養成費	-	949,549	0	949,549	
6. 現地補助員費	2,177,000	2,344,820	2,177,000	167,820	
2-(2) & 3-(2)					
5. 現地調整員費	958,000	1,861,100	958,000	903,100	
8. 外部監査費	669,000	669,000	669,000	0	
9. 事業管理費	-	1,049,304	0	1,049,304	
合計	8,112,000	17,701,090	8,112,000	9,589,090	

補助対象外経費の区分	所要額 (自己資金)	支払実績額 (自己資金充当額) (C)	備考
2-(2)			
1. 資機材設備費	177,000	148,026	
2. 教材費	3,990,000	2,308,876	
3. 指導者養成費	3,123,900	2,347,425	
6. 現地補助員費	1,995,300	750,531	
3-(2)			
1. 資機材設備費	270,000		
2. 教材費	986,580		
3. 指導者養成費	270,945		
6. 現地補助員費	1,101,070		
2-(2) & 3-(2)			
5. 現地調整員費	1,292,000	903,100	
8. 外部監査費	2,000	0	
9. 事業管理費	1,721,250	1,049,304	
合計	14,930,045	7,507,262	

補助金使用額 (B)	自己資金使用実績 (C)	総事業費 (B) + (C)
8,112,000	9,589,090	17,701,090

カンボジア図書館活動



図書館員研修会の様子 インストラクターは SVA スタッフ



研修会後各学校での図書館活動をモニタリング

カンボジア図書館・アジア子どもの家活動



移動図書館での読み聞かせ



アジア子どもの家（幼稚園教員養成学校の実習の場となっている）